**提出書類**

○：必ず必要 △：該当する場合に必要　　　×：不要

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 提出書類 | | | 備考 | 届出の区分 | | | チェック  欄 |
| 一般 | 液石 | 冷凍 |
| 高圧ガス販売事業届書 | | 一般 | 高圧ガス(液石則、冷凍則の適用を受ける高圧ガスを除く。)の販売 | ○ | × | × |  |
| 液石 | 液化石油ガスの販売（液化石油ガス法の適用を受けるものを除く。） | × | ○ | × |  |
| 冷凍 | 冷凍設備等に封入した冷媒ガスの販売 | × | × | ○ |  |
| 委任状 | | | 届書の代表者欄が代表取締役以外の場合は必要 | △ | △ | △ |  |
| 個人 | 住民票 | | ３か月以内に発行した原本又はコピーで、マイナンバーの**ないもの**に限る。 | ○ | ○ | ○ |  |
| 法人 | 登記簿謄本 | | ３か月以内に発行した原本又はコピー |
| 販売計画書 | | 一般 | 販売計画書（一般則） | ○ | × | × |  |
| 液石 | 販売計画書（液石則） | × | ○ | × |  |
| 冷凍 | 販売計画書（冷凍則） | × | × | ○ |  |
| 法第１５条で定める貯蔵に係る基準及び法第２３条で定める移動に係る基準の対応表  **（伝票販売の場合は不要）** | | 一般 | 一般則第１８条第２号、第５０条の基準適合表 | △ | × | × |  |
| 液石 | 液石則第１９条第２号、第４９条の基準適合表 | × | △ | × |  |
| 冷凍 | 冷凍則第20条(第27条第2号)の基準適合表 | × | × | △ |  |
| 法第２０条の６で定める販売に係る基準の対応表 | | 一般 | 一般則第４０条の基準適合表 | ○ | × | × |  |
| 液石 | 液石則第４１条の基準適合表 | × | ○ | × |  |
| 冷凍 | 冷凍則第２７条の基準適合表 | × | × | ○ |  |
| 引渡し先の保安状況を明記した台帳の様式 | | | 法第２０条の６第１項による台帳 | ○ | ○ | ○ |  |
| 帳簿の様式 | | | 法第６０条第１項による帳簿 | ○ | ○ | × |  |
| 販売所案内図 | | | 最寄り駅、幹線道路等からの案内図 | ○ | ○ | ○ |  |
| 販売所見取り図（平面図） | | | 販売所内の容器置場がわかるもの | ○ | ○ | ○ |  |
| 貯蔵設備の構造を示す書面  **（伝票販売の場合は不要）** | | | 容器置場（残ガス容器置場含む。）の寸法がわかるもの | △ | △ | △ |  |
| 販売する高圧ガスの供給元（仕入先）について、以下のいずれか  ・販売事業届の控え  (自治体の受理印のあるものに限る。)  ・販売事業届受理証(又は許可証)の写し | | | 供給元が複数の場合は複数分を添付 | ○ | ○ | ○ |  |
| 周知文書**（備考欄のガスのみ）** | | | ・溶接又は熱切断用ｶﾞｽ  （ｱｾﾁﾚﾝ、天然ｶﾞｽ、酸素、液化石油ｶﾞｽ）  ・燃料用の液化石油ｶﾞｽ  ・在宅酸素療法用の液体酸素  ・ｽｸｰﾊﾞﾀﾞｲﾋﾞﾝｸﾞ等呼吸用空気等 | △ | ○ | × |  |

**注意事項**

・高圧ガス販売主任者の選任が必要なガスについては、高圧ガス販売主任者選任届も同時に提出して下さい。

・「高圧ガスの引渡し先の保安状況を明記した台帳」には、少なくとも次に掲げる事項を記載して下さい（様式は任意）。

【一般則の場合】

１　引渡先の名称及び所在地

２　当該引渡先に対する販売上の保安責任者（できるだけ販売主任者免状又は製造保安責任者免状を所有する者が望ましい。）の氏名

３　イ　圧縮天然ガスを燃料の用に供する一般消費者に販売する者（以下「Ａ」という。）にあっては引渡した容器から消費者における最初の閉止弁までの配管の配置状況及びそれらの付近の状況を示す図面並びにそれらの所在地

ロ　直接消費者に販売する者（Ａを除く。）にあっては、消費場所、消費の方法、ガスの種類ごとの使用の状態等

ハ　消費者に直接販売しない販売業者にあっては、販売先の販売業者の届出年月日

【液石則の場合】

１　引渡先の名称及び所在地

２　引渡先に対する販売上の保安責任者（できるだけ販売主任者免状又は製造保安責任者免状を所有する者が望ましい。）の氏名

３　引き渡した容器の種類及び数量

４　消費者に直接販売する販売業者にあっては、引き渡した容器から消費者における最初の閉止弁までの配置図又は、配管の配置状況及び漏れ試験の結果並びに引き渡した容器を配管に接続したか否か及び接続しない場合はその理由

５　卸売業者にあっては、引渡先の届出年月日

【冷凍則の場合】

１　引渡し先の名称及び所在地

２　当該引渡し先に対する販売上の保安責任者の氏名

３　イ　使用者に直接販売する販売業者にあっては、引渡し先の高圧ガス保安法令の規制に関する教示の有無

ロ　それ以外の販売業者にあっては、引渡し先の法第20条の４の届出の有無の確認

様式２１（一般則第３７条、液石則第３８条、冷凍則第２６条関係）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 高圧ガス販売事業届書 | 一般  ~~液石~~  ~~冷凍~~ | ×整理番号 |  |
| ×受理年月日 | 年　　月　　日 |
| 名称（販売所の名称を含む。） |  | | |
| 事務所（本社）所在地 | 〒 | | |
| 販売所所在地 | 〒 | | |
| 販売する高圧ガスの種類 |  | | |

　年　　月　　日

　　　　　代表者　氏名

奈良県知事　殿

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 担当者氏名 | |  |
| 連絡先 | Tel |  |
| E-mail |  |

備考　１　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。

２　×印の項は記載しないこと。

委　　任　　状

　私儀、　　　　　　　　　は、　　　　　　　　　　を代理人と定め、下記権限を委任します。

記

　　高圧ガス保安法に基づく、高圧ガス販売事業届出に関連する一切の件

　　　　　　年　　月　　日

　　　　　　　 名　　　　称

　　　　　　　　　　　　代表者　氏名

高圧ガス販売計画書

（該当するものの□にチェック（✓）を記載）

１　販売の目的

□溶接・溶断用　□化学工業用　□医療用　□スクーバダイビング用　□冷媒用

□気密試験用　　□その他（　　　　　　　　　　　　　　）

２　販売区域

３　販売の方法・販売する高圧ガスの種類及び最大貯蔵量等

（適宜行を追加すること(別紙でも可)）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ガスの区分 | ガスの名称 | 貯蔵量 | 販売主任者 | 販売方法 | 配送方法 |
|  |  | ㎥･kg | □選任 □不要 | □直送 □貯蔵 | □自社 □委託 |
|  | ㎥･kg | □選任 □不要 | □直送 □貯蔵 | □自社 □委託 |
|  |  | ㎥･kg | □選任 □不要 | □直送 □貯蔵 | □自社 □委託 |
|  |  | ㎥･kg | □選任 □不要 | □直送 □貯蔵 | □自社 □委託 |
| 合計 | | ㎥･kg | － | － | － |

　　注１　販売主任者の選任が必要な場合は販売主任者届を提出すること。

　　注２　「直送」とは、容器置場を所（占）有しないで販売すること、「貯蔵」とは、容器置場を所（占）有して販売することを指す。

４　帳簿類

　　□　法第20条の６第１項及び第60条第１項に基づき、次のとおり備え、記載及び保存します。

　　　　□　引渡先保安台帳（保存期間：引渡継続期間）※様式を添付

　　　　□　容器授受記録簿（保存期間：２年）※様式を添付

　　　　□　周知記録（保存期間：２年）

５　周知に関する事項

　　□　法第20条の５第１項に基づき、別紙の周知文書を備え、周知します。

６　容器の貯蔵について

容器置場の面積　　　　　㎡

７　法20条の６で定める販売の技術上の基準に関する事項

　　□　別記１のとおり遵守します。

８　法第15条で定める貯蔵の技術上の基準に関する事項

　　□　別記２のとおり遵守します。

９　法第23条で定める移動の技術上の基準に関する事項

　　□　別記３のとおり遵守します。

10　保安教育に関する事項

　　□　法第27条第４項に基づき、従業者に保安教育を実施します。

11　高圧ガスの供給者名

所在地

名　　称

代表者名

許可又は届出年月日

許可又は届出受理番号

12　販売所の電話番号等

電　　　話

担当者氏名

13　販売開始予定日

※一般高圧ガス保安規則用

別記１（販売に係る基準）

（該当するものの□にチェック（✓）を記載）

**高圧ガス保安法第20条の６第１項の経済産業省令で定める技術上の基準に関する事項**

**【一般高圧ガス保安規則第40条の基準に対応する事項】**

□　高圧ガスの引渡先の保安状況を明記した台帳（別紙）を備えます。（１号）

□　充填容器等の引渡しは、容器の外面に使用上支障のある腐食、割れ、すじ、しわ等がなく、かつ、当該ガスが漏えいしていないものをもって行います。（２号）

□　圧縮天然ガスの充填容器等の引渡しは、高圧ガス保安法第48条第１項第５号の経済産業省令で定める期間を６月以上経過していないもので行い、かつ、その旨を明示して行います。（３号）

□　圧縮天然ガスを燃料の用に供する一般消費者に販売するときは、その販売に係る消費設備について以下の基準に適合していることを確認した後に行います。(４号）

イ　充填容器等を置く位置は、火気から２ｍ以上の距離が確保されており、かつ、屋外に置くこと。

ロ　充填容器等には、湿気、水滴等による腐食を防止する措置が講じてあること。

ハ　充填容器等を常に40度以下に保つこと。

ニ　充填容器等には、転落、転倒等による衝撃及びバルブの損傷を防止する措置が講ずること。

ホ　充填容器等と閉止弁との間には、高圧側の耐圧性能及び気密性能並びに調整圧力及び閉そく圧力が省令に規定された基準に適合する調整器を設けること。

ヘ　配管には、充填容器等と調整器との間の部分にあっては、省令に規定された基準に適合する管を使用すること。

ト　硬質管以外の管と硬質管又は調整器とを接続するときは、その部分をホースバンドで締め付けること。

チ　調整器と閉止弁との間の配管は、設置工事終了後に気密試験を行い、これに合格していること。

□　圧縮天然ガスを一般消費者に販売するので、配管の気密試験のための設備を備えます。（５号）

※一般高圧ガス保安規則用

別記２（貯蔵に係る基準）（該当するものの□にチェック（✓）を記載）

**高圧ガス保安法第15条第１項の経済産業省令で定める技術基準に関する事項**

**【一般高圧ガス保安規則第18条第２号】**

□　可燃性ガス又は毒性ガスの充填容器等は、通風の良い場所で保管します。（イ）

□　充填容器と残ガス容器は区分して保管します。（ロ（6条2項8号イ））

□　可燃性ガス、毒性ガス、特定不活性ガス、酸素の充填容器は区分して容器置場に置きます。（ロ(6条2項8号ロ)）

□　容器置場には、計量器等作業に必要な物以外を置きません。（ロ(6条2項8号ハ)）

□　容器置場の周囲２メートル以内においては、火気の使用を禁じ、かつ、引火性又は発火性の物を置きません。（容器と火気又は引火性若しくは発火性の物の間を有効に遮る措置を講じた場合以外）（ロ(6条2項8号ニ)）

□　充填容器等は、常に40度以下に保ちます。（ロ(6条2項8号ホ)）

□　圧縮水素運送自動車用容器は、常に温度65度以下に保ちます。(ロ(6条2項8号ヘ)）

□　充填容器等には、転落、転倒等による衝撃及びバルブの損傷を防止する措置を講じ、粗暴な取扱いをしません。（ロ(6条2項8号ト)）

□　可燃性ガスの容器置場には、携帯電灯以外の燈火を携えて立ち入りません。

（ロ(6条2項8号チ)）

□　シアン化水素を貯蔵するときは、充填容器等について１日に１回以上当該ガスの漏えいのないことを確認します。（ハ）

□　シアン化水素は、容器に充填した後60日を超過して貯蔵しません。（純度98パーセント以上で、かつ、着色していないもの以外）（ニ）

□　貯蔵は、船、車両若しくは鉄道車両に固定し又は積載した容器により行いません。(ホ)

□　一般複合容器等であって当該容器の刻印に示された年月から15年を経過したものを高圧ガスの貯蔵に使用しません。（ヘ）

※一般高圧ガス保安規則用

別記３（移動に係る基準）（該当するものの□にチェック（✓）を記載）

**高圧ガス保安法第23条第１項の経済産業省令で定める保安上必要な措置及び同条第２項の経済産業省令で定める技術基準に関する事項**

**【一般高圧ガス保安規則第50条】**

□　車両の見やすい箇所に警戒標を掲示します。（１号）

□　充填容器等の温度（ガスの温度を計測できる充填容器等では、ガスの温度）は、40度以下に保ちます。（２号）

□　15年を経過した一般複合容器等を移動に使用しません。（３号、４号）

□　充填容器等（内容積５リットル以下を除く。）の転落、転倒等による衝撃防止、バルブの損傷防止措置を講じ、粗暴な取扱をしません。（５号）

□　次に掲げるものは混載しません。（６号）

イ　充填容器等と消防法第２条第７項に規定する危険物（圧縮天然ガス又は不活性ガスの充填容器等（内容積百二十リットル未満のものに限る。）と同法別表に掲げる第四類の危険物との場合及びアセチレン又は酸素の充填容器等（内容積が百二十リットル未満のものに限る。）と別表に掲げる第四類の第三石油類又は第四石油類の危険物との場合を除く。）

ロ　塩素の充填容器等とアセチレン、アンモニア又は水素の充填容器等

□　可燃性ガスと酸素の充填容器等は、バルブが相互に向き合わないようにします。(７号)

□　毒性ガスの充填容器等には、木枠又はパッキンを施します。（８号）

□　可燃性ガス、特定不活性ガス、酸素又は三フッ化窒素を車両に積載して移動するとき

は、消火設備、災害発生防止のための応急措置に必要な資材、工具等を携行します。

（９号）

□　毒性ガスの充填容器等を車両に積載して移動するときは、当該毒性ガスの種類に応じた防毒マスク、手袋その他の保護具並びに災害発生防止のための応急措置に必要な資材、薬剤及び工具等を携行します。（10号）

□　アルシン又はセレン化水素を移動する車両には、当該ガスが漏洩したときの除害の措置を講じます（11号）

□　充填容器等を車両に積載して移動する場合において、駐車するときは、当該充填容器等の積み卸しを行うときを除き、第一種保安物件の近辺及び第二種保安物件が密集する地域を避けるとともに、交通量が少ない安全な場所を選び、かつ、移動監視者又は運転者は食事その他やむを得ない場合を除き、当該車両を離れません。（12号）

□　一般高圧ガス保安規則第49条第１項第17号に掲げる高圧ガスの移動の場合は、次の内容を遵守します。（13号）

イ　高圧ガスを移動するときは、甲種化学責任者免状、乙種化学責任者免状、丙種化学責任者免状、甲種機械責任者免状若しくは乙種機械責任者免状の交付を受けている者又は協会が行う高圧ガスの移動についての講習を受け、当該講習の検定に合格した者に当該高圧ガスの移動について監視させます。（49条１項17号）

ロ　前述（49条１項17号）の移動監視者は、高圧ガスの移動を監視するときは、常に前号の免状又は講習を修了した旨を証する書面を携帯します。（49条１項18号）

ハ　当該高圧ガスの移動中充填容器等が危険な状態となつた場合又は当該充填容器等に係る事故が発生した場合における次に掲げる措置を講じる。(49条１項19号イ～ハ）

(ｲ) 　荷送人へ確実に連絡するための措置

(ﾛ)　事故等が発生した際に共同して対応するための組織又は荷送人若しくは移動経路の近辺に所在する第一種製造者、販売業者その他高圧ガスを取り扱う者から応援を受けるための措置

(ﾊ)　その他災害の発生又は拡大の防止のために必要な措置

ニ　繁華街、人混みを避ける。（49条１項20号イ）

ホ　運搬の経路、交通事情、自然条件その他の条件から判断して次の各号のいずれかに該当して移動する場合は、交替して運転させるため、容器を固定した車両１台について運転者２人を充てること。（49条１項20号ロ）

(ｲ)　一の運転者による連続運転時間（１回が連続10分以上で、かつ、合計が30　分以上の運転の中断をすることなく連続して運転する時間をいう。）が、４時間を超える場合

(ﾛ)　一の運転者による運転時間が、１日当たり９時間を超える場合

□　可燃性ガス、毒性ガス、特定不活性ガス、酸素を移動するときは、当該高圧ガスの名称、性状及び移動中の災害防止のために必要な注意事項を記載した書面を運転者に交付し、移動中携帯させ、これを遵守させます。（14号）

**□　委託で配送する場合は、委託先が基準に従い実施することを確認します。**